

○10番 首藤創志君

泉中学校3年、首藤創志です。今回、私は行橋市の治安維持について質問します。

はじめに、たばこ等のポイ捨てが多いことです。特に南行橋駅のたばこのごみは気になります。喫煙所の設置やポスターを張ったりして、環境美化に力を入れてほしいと思います。

次に、夜になると大きな音を響かせるバイク等に対してのパトロール強化をしてほしいと思います。

まず、はじめにポイ捨てに対して、行橋市が取り組んでいることと、今後、南行橋駅に喫煙所が設置されるのか、また、たばこ等のポイ捨てに対する対策について、お尋ねします。

○議長 白橋陽那君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 工藤政宏君

首藤議員の御質問にお答えいたします。まず、ごみやたばこのポイ捨てについてなんですけれども、人目の少ない場所や駅などの人が多く集まる場所で発生しているのが現状でございます。近隣住民の利用者から相談、それから通報が、実際に市のほうにも多く寄せられています。本市としましては、ポイ捨てが発生する現場の重点的なパトロールを実施しております。また、ポイ捨て禁止等の警告看板を、御要望があった地域などには配布しております。

首藤議員がおっしゃいます南行橋駅の敷地内は、行橋市が管理していますが、喫煙所や警告看板は、いま現在設置しておりません。喫煙所につきましては、これは健康増進法という法律がございまして、その観点から設置の計画は今のところありません。ですので、基本的には、あそこでたばこを吸ってはいけないということですね。そしてポイ捨て禁止等の警告看板設置につきましては、関係所管と協議を行いながら前向きに検討してまいりたいと思っています。

今後も、それぞれ関係機関と、特に地元の方々と連携を強化してまいりまして、地域生活環境の保全並びに公衆衛生の向上に努めてまいりたいと思っておりますが、1点ですね、この看板についてなんですけれども、ナッジというものがございまして、これは何かというと、ナッジというのは、肘で小突くとか、そういった意味なんですけれども、看板の設置の仕方というの、これから行政は考えていかなければいけないと思います。

横浜市なんかでは、実際にナッジを研究している若手を中心としたグループがあるんですが、男性だったら見たことがある人もいると思うんですけども、男性用トイレで小便器をきれいに使ってもらうために、一歩前へ、と書いているのを見たことはないですか。例

えば、こぼさないように注意、とかではなくて、一歩前へ、という言葉を使ったり、その一歩前へ、という言葉もよりユニークな言葉を使われている所もあったりするんですよね。未来に向かって一歩前へ、とか。

要は注意されると、どうしても人って反発したくなる。でもこのナッジというのは、上手に人の心理を見抜いて、上手に背中をそっと後押ししてあげるような、これをナッジと言います。ですから、今後行政は、この市民の皆さんが、より気持ちよく納得いただけるようなやり方、こういったところは、今後研究していかなければいけないところかなと思っています。以上です。

○議長 白橋陽那君

首藤議員。

○10番 首藤創志君

ありがとうございます。次の質問に移ります。

次に、夜に大きい音を響かせるバイク等に対しての行橋市の対応や対策について、お尋ねします。

○議長 白橋陽那君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 工藤政宏君

御質問にお答えいたします。まず、公道を走る車両に対する違反行為等の取り締まりにつきましては、これは、管轄は警察となっております。本市では、年に数回行橋警察署が主催して開催しております、駅前交番連絡協議会に出席して、市内で起きている犯罪や交通安全に関する情報交換を行っています。

このように、住民の皆様からの苦情や御要望がありましたら、警察署をはじめとする関係機関へ、連絡・相談する体制をとっています。

今回の議員の御要望につきましても、関係機関との連携を図りながら、安全・安心なまちづくりに取り組んでまいりたいと思っています。

実際に何時ごろ、どういったかたちで、例えばバイクの騒音がうるさいとか、そういったことを後ほどでも具体的にお教えてください。先ほど申し上げましたように、基本的には警察対応になってきますけれども、そういった御相談を我々にいただければ、しっかりと警察のほうにお伝えして、協議をさせていただきますので、御理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

○議長 白橋陽那君

首藤議員。

○10番 首藤創志君

ありがとうございました。今後も引き続き、きれいで安全なまちづくりに努めていただきたいと思います。

これで質問を終わります。ありがとうございました。